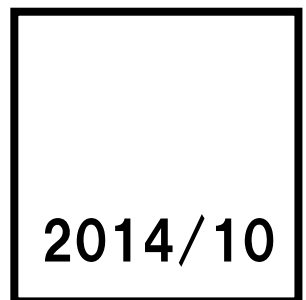




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



数百年史続いた老舗企業の「長い社史」は以前の「社楽」8号で取り上げました。それをご覧になった方から「では、短い社史は？」という質問を時折、受けます。

社史を刊行してない企業にとっては、創業から何年くらいで社史を刊行するのか、というほうが、より身近な疑問なのかもしれません。そこで、今回は「短い社史」を調べてみました。

③

まず、3年。
1909年創業の『京都電気株式会社始末』（1912年刊）は、京都電燈株式会社に事業を譲渡して解散するまでの記録

です。『ひょうごご輸入住宅総合センター3カ年の記録』（1999年刊行）は、阪神大震災後の1996年に、復興の3カ年計画の一環として設立された住宅展示場です。来場者40万人以上を集めて役割を終えました。多くの図版、輸入住宅の特徴や図面なども多数掲載されています。ISTソフトウェアの『合併3周年を迎えて』（2009年刊行）は、1970年代に創業した合併前の3社の歴史をまとめた内容が中心なので、実際には、3年だけの歴史を記したものではありません。2006年に創業した奈良の和菓子メーカー『天平庵創業三周年記念誌』（2009年刊行）は

商品の紹介も含めた薄い冊子です。
ひと口に3年といっても、刊行に至る事情はいろいろあるようです。

②

次に、2年。
1924年に創設し1926年に解散した『東京放送局沿革史』（1928年刊）と、ほぼ同じ期間を扱った（設立許可は1925年）の『大阪放送局沿革史』（1934年刊）。逋信省の主導で日本放送協会の設立に至るまでの記録です。放送事業黎明期の様々な出来事を詳細にまとめています。解散後、しばらくしてから刊行ですが、前者の巻頭言では「本史は東京放送局の沿革史であると同時に、一面、日本に於ける放送史の先駆を為す重要な記録である」と刊行の意義を記しています。

（裏面に続く）

短い社史を探してみました。

(表面から続く)

1928年に設立した『設立二周年 日本自動車業組合連合会史』(1930年刊行)は、総会の記録や、請願・陳情などをまとめた内容です。緒言によると、種々の資料を纏めて散逸を防ぐこと、連合会の歴史としてだけでなく交通文明の資料としたいことなどが、編者によって記されています。ほかに、日本国有鉄道の東海道新幹線支社による『東海道新幹線2年のあゆみ』(1966年刊行)という冊子もありました。いずれも日本の基盤となる産業のはじまりの記録を残そうという意志のようなものが感じられました。

①

さて、1年。

この場合、年史というより創業や設立の記録という意味合いが強くなると思います。書名に1年と明記されているのも、1982年に開設した東京金取引所の『一年の歩み』(1983年刊行)。設立時の概要などが簡単にまとめられています。田中工業株式会社(本社・東京都町田市)が1986年、宮城県に創立した『東北工場創立一周年記念 操業一年をかえりみて』

(1987年刊)は、東北工場の理念や構想、式典の様子や、操業からの一年間を記しています。

1年とは明記されていませんが、1931年に設立した東京青果商信用組合の『設立を記念して』(1932年刊)は組合設立に関する経緯や各種資料をまとめた内容。また、1985年に開局した『FMとやま誕生 開局の記録』(1988年刊)は、開局までの準備期間を含め、社員の記名原稿で回想しています。

他にも何冊あるかもしれませんが、3年未満の「短い社史」を例示しました。創業の時期に何があったのかを記録しておきたいという気持ちが根底にあって、短い時期にもかかわらず、刊行に至ったのだと思います。

まだ、創業して間もない会社の方、創業の精神を含めた「今」の記録を残してみたいかがでしよう。

(科学情報課・高田)

※この「短い社史」の調査には、図書館司書実習中の大学生にも手伝ってもらいました。

■ 遠方の方に ~ご存知ない方もいらっしゃるので~ ■

北海道や九州から県立川崎図書館まで社史を閲覧しにいらっしゃる方を見かけます。まとめて社史を見ていくなら、やはり当館の社史室が便利なので、ご来館をおすすめしますが、特定の決まった社史を閲覧するなら、お近くの公共図書館(大学に所属している方は大学図書館)に相談してみてもいいでしょう。

当館(または他館)から、ご覧になりたい社史を取り寄せることができるはずですが、手続きなどは図書館によって異なり、当館でも貸出できないものもありますので、まずは、お近くの図書館でご相談ください。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話:044-233-4537 FAX:044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>